

## 県同意取り消し 市民団体が要望

女川原発再稼働

能登半島地震を受け、脱原発を呼びかける県内の住民団体は22日、東北電力が再稼働を目指す女川原発2

号機(女川町、石巻市)について、周辺の活断層の検証や避難計画の見直しが終わるまで、再稼働に対する県の地元同意を取り消すよう村井嘉浩知事に求める要望書を提出した。

提出した団体は、「女川原発の再稼働を許さない!みやぎアクション」と「原発問題住民運動宮城県連絡センター」。

要望書では、能登半島地震で北陸電力の想定以上に断層が動いたとして、女川周辺の活断層も検証が必要だと指摘。さらに、放射線を避けるための屋内退避や避難行動も、家屋倒壊や道路の寸断、孤立集落の多発によって困難だとし、避難計画の「抜本的な見直しが不可欠」と訴えた。

また、県が再稼働に同意するかどうかを判断するために2020年まで設置していた、有識者による安全性検討会の再設置を要求。東北電力が想定する最大の揺れ「基準地震動」や、地震対策の再検証を求めた。

(平川七)